

スポーツ医学に求められるもの： スポーツ医・理学療法士・トレーナーに必要な資質

堀部 秀二

大阪労災病院 スポーツ整形外科

娯楽や健康目的でスポーツを行なう人々が増え、スポーツ医療への社会的ニーズも高まってきており、医師、理学療法士、アスレチックトレーナーなど多くの職種の方々が医療に携わってくるようになってきた。スポーツ医学の進歩、情報網の充実、知識収集場の拡大、トレーナー制度の確立、などに加え、選手の医療に対する期待度が高くなるにつれ、スポーツ医療を取り巻く環境はここ20年で大きく変化してきている。整形外科医として長年スポーツ医療に携わった私験を通して、スポーツ傷害の診断・治療の進歩、現状の問題点、スポーツ医やトレーナーの役割などについて述べる。